

## 【会員の頁】

### 開設式典を挙 行 阪大理・化学熱学実験施設

1979年4月に発足した阪大理学部化学熱学実験施設は翌年3月に建物が完成し、その後、装置の整備を進めていましたが、先日(1981年6月13日)開設式典を行なう運びとなりました。

当日はあいにくの天候でしたが、開設式は約60名の方々の御出席のもとに、阪大理学部会議室で開催されました。山村雄一阪大総長と金森順次郎理化学部長は挨拶の中で、本施設が関集三(現名誉)教授を中心とする研究者集団の独自の装置の開発と、ユニークな業績に基づいて設置されたこと、大阪に芽生え育ったユニークな研究が世界の研究の前進に役立つものへ発展するようにとの期待が述べられました。千原秀昭施設長の沿革説明の後、本施設の生みの親である関集三名誉教授より、関係者への謝意を含めた祝辞をいただきました。この中で、日本の化学熱学研究の歴史をふり返り、戦前には定着できなかったこの分野が戦後の発展ののちに本施設の誕生を見るに至ったことの意義、開設が同教授の定年退官の時機と重なったことに伴う文部省との交渉の経緯、本施設がわが国の内外の研究者に広く開かれた施設になるよう、また、伝統の中にこそ革新が生まれるのであり、個性ある研究者が自由な雰囲気の中で十分に討論をつくして研究を進めてほしいとの強い要望がのべられました。最後に、本会を代表して森本哲雄岡山大理学部教授(会長)は、旧関研グループの研究の特徴、現代社会における精密熱測定の意味に触れた後、更に極限に挑む新たな研究の発展への期待、欧州で見られるようなユニークな研究室間の良質の大型研究協力が本施設を中心に展開されるようにとの期待をこめて、祝辞をのべられました。

施設見学の後、理学部内でささやかな祝賀会が開かれ、



祝辞をのべられている森本哲雄本会会長

若槻哲雄前阪大総長の音頭で乾杯の後、関連研究領域を代表して長倉三郎分子科学研究所所長、開設申請当時の本会会長である大塚良平早稲田大学理工学部教授、理学部化学系教室を代表して中村 晃教授より、それぞれ、心のこもったお祝いと暖い励ましのお言葉を頂戴しました。外国からも、中国科学院化学研究所の胡日恒(Hu Jih-heng)教授、チェコスロバキア化学会物理化学部会の正副会長のE. Hála教授とJ. Biroš博士、スウェーデンのルント大学I. Wadsö教授、英国ブリストル大学のD. Everett教授、米国のミシガン大学のE. F. Westrum, Jr.教授、ソ連モスクワ大学V. P. Kolesov教授から、それぞれ祝辞が書面で寄せられ、披露されました。阪大以外の本会関係者としては、森本、大塚両教授の他に、草野一仁(宮崎大工)、広海啓太郎(京大農)の両教授が御出席下さいました。遠路はるばるおいで頂いた先生方に紙面を借りて厚くお礼を申し上げる次第です。

(阪大理 菅 宏、崎山 稔)

### 『熱測定』編集委員会

(委員長) 上出健二、(委員) 影本彰弘、徂徠道夫、田村勝利、東原秀和

熱測定 Vol. 8, No. 3, 1981 昭和56年6月25日印刷  
昭和52年5月27日第4種 昭和56年7月5日発行  
郵便物認可

編集兼 日本熱測定学会 松本直史  
発行人

〒113 東京都文京区湯島1-5-31 第一金森ビル内  
電話 03-815-3988 振替 東京9-110303